

平和新聞

京都版

E-mail: kyo-hei@crest.ocn.ne.jp 編集 京都平和委員会 Tel.075-811-3203 Fax 075-811-3213

鹿児島と京丹後をつなぎ、軍拡阻止を求める運動が同日開催！

「2023 日本平和大会 in 鹿児島」と「いらんちゃフェスタ 2023(11/12)」



集会終了後、横断幕を先頭に市内を行進、市民にアピール

基地に侵襲をおこなう出撃基地となります。経ヶ岬の米軍基地警護には福知山の陸上自衛隊が割り当てられていて、隣接する航空自衛隊の部隊とともに

入してくる敵とたたかうということになります。現在、日米で4万人を超える規模の統合演習をやっていますが、緊張をおおるようなことはやめてほしいですね。基地そのものが戦場になるのに備えてか、二期工事が完了で経ヶ岬の基地は戦闘陣地のような構えとなつていきます。自衛隊施設の「強化」のモデル的なつくりになっています。そして、米軍は実戦を想定した実弾射撃訓練を福知山の陸自射撃場でおこなつていて、京都府北部は日米一体の戦争拠点と言える状態です。世界を見れば、戦争を終わらせるのはとても困難なことです。戦争を始める基地はもう「いらんちゃ！」と言つてやりましょう。その米軍基地にかかわる「安全・安心対策連絡会(安安連)」において「重要土地等調査法」に対する住民の不安や要求が相次いで出され、昨年8月、防衛省による「情報提供の場(住民代表への説明ともなった)」がもたれたり、京丹後市や京都府からもパブリックコメントが出さ

られたりするなどしてあります。それが功を奏したか、京都府内の基地について区域指定を遅らせている現状があります。「相手の土俵」ではありながら「安安連」での住民代表の声が自治体を動かし、防衛省や米軍へ影響を与えていることは重要です。全国各地でも住民の声を集め、大きな世論をおこ

し、大軍拡路線に待ったをかけることが大切です。本日「日本平和大会 in 鹿児島」の閉会集会在開催されています。京都からも21人の代表団が参加しています。全国が心ひとつに力を合わせていこうではありませんか。そして政府力を合わせていこうではありませんか。そして政府【ウラ面へ続く】

戦争を始める基地はもう「いらんちゃフェスタ」(11/12) 片岡明理事長のあいさつ

「米軍基地いらない京都府民の会」をしていきます京都平和委員会の片岡です。昨年の挨拶で触れた「統合防空ミサイル防衛(TAMU)」と「キルチェーン」のつながりが判つてきました。2022年3月に発言があ

つた「キルチェーン」が敵基地攻撃作戦の肝と言え「ターゲットイング・プロセス(サイクル)」であり、それを始める情報を提供するの経ヶ岬の米軍基地ということ。これにより舞鶴はイージス艦も出動し、弾道ミサイル迎撃だけでなく、反撃能力と称するトマホークという攻撃兵器を使った敵基地攻撃をおこなう出撃基地となります。経ヶ岬の米軍基地警護には福知山の陸上自衛隊が割り当てられていて、隣接する航空自衛隊の部隊とともに基地に侵襲をおこなう出撃基地となります。経ヶ岬の米軍基地警護には福知山の陸上自衛隊が割り当てられていて、隣接する航空自衛隊の部隊とともに

基地そのものが戦場になるのに備えてか、二期工事が完了で経ヶ岬の基地は戦闘陣地のような構えとなつていきます。自衛隊施設の「強化」のモデル的なつくりになっています。そして、米軍は実戦を想定した実弾射撃訓練を福知山の陸自射撃場でおこなつていて、京都府北部は日米一体の戦争拠点と言える状態です。世界を見れば、戦争を終わらせるのはとても困難なことです。戦争を始める基地はもう「いらんちゃ！」と言つてやりましょう。その米軍基地にかかわる「安全・安心対策連絡会(安安連)」において「重要土地等調査法」に対する住民の不安や要求が相次いで出され、昨年8月、防衛省による「情報提供の場(住民代表への説明ともなった)」がもたれたり、京丹後市や京都府からもパブリックコメントが出さ

京都平和委員会の岡田英樹会長が10月18日にご逝去されました(79歳)

葬儀は21日に家族葬にて営まれました。謹んで哀悼の意を表します。岡田英樹さんは、1970年代から京都平和委員会事務局長に就かれ理事長を経て、1977年6月の総会で山口正之前会長から会長の任を引き継ぎ今日に至ります。会議の場では的確な情勢分析をされ、会議の後の酒席ではだし巻き卵と漬物盛り合わせをつまみながら、それぞれの思いなどをくみ取り暖かく励ましていただきました。立命館大学文学部教授のお勤めでしたが、国際平和ミュージアムの企画局長や副館長も勤められるなど、長きにわたり多面的に平和と民主主義を守る運動に大きな役割を果たしてこられました。心より敬意と感謝の意を表します。

京都平和委員会理事長 片岡明



2016年総会で挨拶される岡田会長

の戦争政策から住民を守る砦として、戦争協力事務である自衛隊への個人情報提供などをするようなことがない地方自治体をめざし、わたしたちの要求をしつかり共有していただけの福山和人さんに来て

年、京都市長に押し上げるように頑張ります。改憲をすすめ、核兵器廃絶に背をむける岸田内閣が推進している「敵基地攻撃の大軍拡と大増税」の路線を止めるような大きな力を示していきたいでしょう。

なくそう！日米軍事同盟・米軍基地！

2023年日本平和大会 鹿児島

(11月11日〜12日)

全国から1200名(オンラインを含む)

京都から22名が参加し、

海外・日本各地の取組みを交流!!

今回の大会は中国の軍事的力に対抗する自衛隊の「南西シフト」、馬毛島の自衛隊基地建設反対等、運動が活発化している鹿児島で開催されました。

以下、参加者の報告要旨を紹介します。

馬毛島を日米一体化の

「要石」にさせない!!

篠原真弓(京都安保)

13日には種子島・西之表市で「馬毛島に基地はいらない」全国交流集会が行われ、「馬毛島への米軍施設に反対する市民・団体連絡会」事務局長の渡辺道

を抱える地域平和委員会の活動が報告され、馬毛島の基地建設反対運動との連帯を確認した集会になりました。

着々と戦争準備が

進んでいると痛感した!!

早川智里(京都民医労)

九州各地で軍事基地建設や米軍の飛行訓練などが行われていることを知りました。日本の自衛隊基地が米軍の訓練や飛行ルートとして使われていることや、馬毛島に新基地を作ろうとしているなど、着々戦争準備が進んでいると痛感しました。

これらの情報が一般的なニュースではほとんど取り上げられないので、

自取り上げられないので、自ら関心のアンテナを高くして情報を得なければならぬと思いました。

〈動く分科会〉

知覧特攻平和会館

訪問ツアーに参加して

板谷直子(京都民医労)

朝鮮や韓国の若い方が、強制的に特攻隊員にされたこと、韓国で特攻隊となり犠牲になった方の碑の建設を、韓国は拒否したこと、韓国にとっては裏切り者扱いにされていることに衝撃を受けました。特攻隊を考えたこと、特攻隊にならざるを得なかった子どもたちを考えると、何のために生きてきたのかと、戦争に怒りを持ちます。靖国神社で特攻隊員の写真と共に名前と歳が出されて祀られていて、当の亡くなっていった子どもたちはそれを喜んでいいのか、美化されているとしたか考えられないものでしたが、知覧特攻平和会館にも、特攻隊として犠牲になった子どもたちの写真があり、これを美化してはならないし、2度と日本が戦争

をさせてはならないと思っていました。

2023日本平和大会に

参加して

成宮まり子

(日本共産党)

京都府会議員団

4年ぶりのリアル開催となった日本平和大会・鹿児島。京都代表団の一員として参加し、戦争のない平和な世界と日本をめざす国内外のみなさんとの交流、連帯を通じ、たくさんの方々と学びました。「ガザ攻撃の中止を！」から始まった開会集会には、連帯メッセージが海外からも次々と寄せられました。「祖父が『いいんだよ、戦争さえなければ』と繰り返した言葉を、今ほど切望するときはありません。あきらめないで、世界の子どもたちが安心して眠れるように、私たちは知恵と忍耐を発揮しましょう」とのウクライナの女性活動家の訴えが、胸に刺さりました。

2日目「自衛隊員募集業務への自治体の協力問題」の分科会に参加

鹿児島や奈良などでの

当事者(保護者や10代の

青年)と一緒にとりくんでおられる運動に励まされました。私も「個人情報保護法改悪や自治体独自条例廃止など、地方自治体を『戦争国家づくり』に協力・動員する動きの危険性をとらえ、これに反対し、住民の命や財産、個人情報を守るという『公共の役割』をとりもどすたかいたとして発展させていきたい」と、福山和人弁護士とのこの問題での取り組みも紹介して発言しました。

閉会集会では、京丹後米軍基地の横断幕を広げて、「京都は今日、『米軍基地いらんちやフェスタ!』開催中です」とアピール。たくさんの方々から「これが京都の米軍基地か」と写真撮られ、「京都にも、〇〇にも、米軍基地はいりませぬね!」と連帯、エール交換の輪が広がりました。

私自身の日本平和大会参加は7年ぶりでしたが、全国と世界で、厳しい逆流とともに、それに抗して新たな運動とたたかい、世論が力強く前進しつつあることを実感しました。

米平和大会参加者の報告は次号に続きます。



野外での閉会集会でアピールする京都の代表